

## 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水芭蕉公園景観及び水芭蕉保全事業
事業主体 (連絡先)	みどり湖水芭蕉の会 塩尻市大門五番町12番41号
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	436,793円 (うち支援金: 316,000円)

## 事業内容

水芭蕉公園内の景観が悪化してきているなど、観光地・市民の憩いの場である公園の魅力が低下してきていること及び地域住民の水芭蕉公園に対する愛着と誇りを醸成するため、市民団体と地域住民が主体となって、水芭蕉公園の景観・水芭蕉の保全事業を実施

## 1. 遊歩道及び東屋の整備

水芭蕉公園の景観保全及び観光客の安全を確保するため遊歩道沿いに設置している丸太杭の整備及び増設並びに東屋の整備を行った。

期間 平成26年4月3日～平成27年3月14日  
延べ9回、延べ参加者125人  
※うち、市民ボランティア延べ8人

場所 塩尻市 水芭蕉公園

規模 遊歩道: 約30m、東屋1基

方法 (1) 遊歩道

- ・既設されている丸太杭(歩道誘導杭)に防腐剤を塗布
- ・丸太杭が設置されていない場所に丸太杭を設置し、丸太杭間はロープを取り付け
- ・泥濘になりやすい歩道にまくら木を設置
- ・既設の歩道のまくら木で腐食が激しいものを交換した。

(2) 東屋

- ・既設の東屋全体(屋根、支柱)に防腐剤を塗布



【遊歩道整備・まくら木交換】



【東屋整備】

## 2. 観賞スペースの設置

水芭蕉公園内に座って観賞できる場所が少ないため、高齢者でも気軽に訪れることが出来るよう観賞スペースを設置した。また、水芭蕉まつりの際のイベント用ステージとしても活用した。

期間 平成26年4月3日～4月17日  
延べ3回、延べ参加者8人

場所 塩尻市 水芭蕉公園

規模 4,000mm×2,500mm

方法 ・既設されている基礎の上に、土台材及びデッキ用板材を組み立て、ボルトで固定



【鑑賞スペース設置】

### 3. 水芭蕉育成環境の整備

水芭蕉育成環境の保全を図るため、水芭蕉が群生する棚田内にあぜ板を設置し、棚田内に水が溜まるよう整備した。

期間 平成 26 年 4 月 3 日～4 月 13 日

延べ 3 回、延べ参加者 43 人

場所 塩尻市 水芭蕉公園

規模 約 70m

方法 各棚田にプラスチック製あぜ板を設置



【あぜ板設置】

### 4. 植栽 30 年を記念したイベントの開催

水芭蕉植栽 30 年を記念した「水芭蕉まつり」を開催し、地域住民の水芭蕉公園に対する愛着と誇りを醸成するとともに、訪れた方々へのおもてなし（支援団体等による賑わいの創出）により魅力ある観光地としての情報発信を行った。

期日 平成 26 年 4 月 19 日（土）、20 日（日）

場所 塩尻市 水芭蕉公園

内容

- ・市民団体による音楽、太鼓などの演奏発表
- ・特産品の販売（おやきなど）
- ・協賛団体（企業含む）による特産品の販売及び甘酒、コーヒーの振る舞い
- ・塩尻産そばなどの振る舞い

来場者数 1,150 人（19 日は気温 3 度）



【水芭蕉祭り】



【看板】

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 水芭蕉公園内の遊歩道、東屋の整備を行ったことにより、景観を保全すること及び来訪者の安全を確保することができた。

2. 鑑賞スペースを設置したことにより、公園施設が充実されるとともに、水芭蕉祭りにおいて多用な市民団体が活動を発表する場を確保することができ、市民の憩いの場としての情報を発信することができた。

【水芭蕉まつりへの市民団体参加数H25＝2団体延べ10人→4団体1個人延べ30人】

## 【目標・ねらい】

- ① 水芭蕉公園の景観保全・磨き上げ
- ② 水芭蕉の保全・育成
- ③ 住民の愛着と誇りの醸成
- ④ 誘客促進（来訪者の増加）

## ※自己評価【B】

### 【理由】

- ・水芭蕉公園への愛着と誇りの醸成（水芭蕉まつりへの市民団体参加増、市民ボランティアの参加）
- ・会員が 10% 増加
- ・水芭蕉の群生数 10% 増加

3. 棚田にあぜ板を設置したことにより、棚田に水が溜まり、水芭蕉の育成環境が改善され、水芭蕉の群生数が増加した。

【水芭蕉群生数H25=約 3,600 株→H26=4,000 株  
10%増加】

4. 地域住民と協働で公園の整備、管理を行うことにより、水芭蕉公園に対する愛着を高めることができ、会員数が増加した。

【みどり湖水芭蕉の会会員数H25=26 人→H26=28 人  
約 10%増加】

5. 各種メディア等を活用した情報発信を実施することができ、市民の水芭蕉公園に対する認知度と愛着を高めることができた。(公園整備に市民ボランティア 8 人の参加があった。)

6. みどり湖の堤体の耐震工事が必要なため、現在、みどり湖でのへら鮎釣りが禁止されている中、水芭蕉公園の魅力を磨き上げることで観光地としてのみどり湖の景観を保持するとともに誘客促進に繋がっている。

【みどり湖観光入込客数】

H24=25,500 人→H25=17,000 人 30%減少

H2517,000→H26=16,500 人 5%減少※激減傾向に  
歯止め

## 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・地域住民はもとより関係団体並びに観光地及び市民の憩いの場をつくる実践者を増加させることにより、水芭蕉公園だけではなくみどり湖全体の景観保持と魅力の磨き上げを行っていききたい。

- ・水芭蕉が咲く時期以外の公園の魅力創出（活用）を行政、地域住民、関係団体と連携して行っていききたい。

- ・水芭蕉の育成環境が整いつつあるため、水芭蕉の群生数をさらに増加させるなど魅力を高めることにより、今後も継続して維持管理が行えるような仕組みづくりを行っていききたい。(維持管理費の確保等)